

令和元年度 学校評価報告書

4 段 階 評 価	A	ほぼできた	3.2 以上
	B	概ねできた	2.6～3.2未満
	C	やや不十分	2.0～2.6未満
	D	不十分	2.0 未満

島根県立江津工業高等学校

部・科	目 標	具体的方策	評価平均			学校関係者評価
			保護者	生徒	教員	
総務部	学校の魅力の発信	・本校の魅力がより広く伝わるよう、学校公式ホームページの随時更新をはじめ、幅広い広報活動を行う。	B	B	A	A
教務部	授業評価による授業改善	・各学期中間試験後の最初の授業を生徒による授業評価の時間とし、生徒からその期間までの授業評価を受けるとともに、生徒自身にも振り返りの機会を与える。教科担当者はその授業評価を参考にして、授業改善を図り、生徒の学習意欲を高めることに努める。	B	B	B	B
生徒指導部	自己実現に向けての自立できる態度の育成	・登校指導や授業を通して、挨拶や身だしなみを向上させる。 ・携帯・スマートフォンの使用マナーの向上を図る。 ・通学路クリーンアップ活動を実施することにより、地域社会に関心を持たせ交流を促す。	B	C	B	B
	自他の人権を尊重し合う、豊かな人間関係の形成	・生徒の実態に即した人権・同和教育講演会やホームルーム活動等を実施する。	B	B	C	B
進路指導部	生徒の自己実現を支援する進路指導・キャリア教育の充実	・地域で働くこと・学ぶことに関する情報を的確に提供する。 ・3年間を見通したガイダンス等を学期ごとに展開する。	B	A	B	A
保健部	校内美化の推進	・ごみの分別の徹底 ・清掃用具の点検・整備を定期的に行う。	B	B	B	B

部・科	目 標	具体的方策	評価平均		学校関係者評価
			生徒	教員	
寮務部	自主的・自律的な生活ができる寮生の育成	・挨拶・掃除・時間の厳守など、基本的な生活習慣の指導を行う。	B	A	B
事務部	良好な学校運営のための環境整備の充実	・校内危険箇所や老朽化した施設設備の点検と補修、更新を学習環境への配慮のもと行う。	A	A	A
建築・電気科	知識・技能を生かし社会に貢献する建築・電気技術者の育成	・授業に集中させるとともに意欲的に取り組ませる。 ・宿題やレポートの提出期日を守らせる。 ・資格・検定試験に積極的に挑戦させる。	B	B	A
機械・ロボット科	社会に対応できる基礎的な力の育成	・実習等を通して主体性と協調性を身に付けさせる。	A	B	A
1学年部	気持ちの良いあいさつの徹底	・HR活動や授業を通してあいさつを徹底させる。	A	A	B
2学年部	学習意欲の向上	・基礎学力の定着に努め、授業に向かう姿勢を改める。 ・進路目標を明確にし、積極的な資格取得を目指す。	A	B	B
3学年部	進路目標の実現	・就職模試の実施や面接指導等支援を充実し、一次内定率の100%を目指す。	A	A	A